

社会保障審議会年金数理部会（第43回）

平成22年11月26日（金）
10時00分～12時00分
於：東京會館 ゴールドルーム（11階）

議事次第

○ 議題

1. 年金数理部会における財政検証
 - ・ 国家公務員共済組合、地方公務員共済組合、私立学校教職員共済制度の財政再計算結果等の聴取について

2. その他

〔配布資料〕

- 資料1 平成21年財政再計算結果等について ー国家公務員共済組合ー
- 資料2 平成21年財政再計算結果等について ー地方公務員共済組合ー
- 資料3 平成21年財政再計算結果等について ー私立学校教職員共済制度ー
- 資料4 委員より要求のあった資料 〈厚生年金保険・国民年金〉

<資料の訂正>

資料1 平成21年財政再計算結果等について ー国家公務員共済組合ー 64ページ

資料2 平成21年財政再計算結果等について ー地方公務員共済組合ー 52ページ

(別添) 財政調整拠出金の算定(単年度分) <両資料共通の内容>

を裏面の通り訂正

※ 訂正箇所

○ 財政調整拠出金B(年金給付に支障を来さないための財政調整)において

(誤) ●国共済の財政調整拠出額(⑨>⑩かつ⑬<⑭の場合)



(正) ●国共済の財政調整拠出額(国⑪>国⑫かつ地方⑪<地方⑫の場合)

(誤) ●地共済の財政調整拠出額(⑬>⑭かつ⑨<⑩の場合)



(正) ●地共済の財政調整拠出額(地方⑪>地方⑫かつ国⑪<国⑫の場合)

(別添)

財政調整拠出金の算定(単年度分)

○財政調整拠出金A(費用負担平準化のための財政調整)

国共済

独自給付費用の額						⑧総報酬額	
①給付費総額	②公務上給付	③追加費用	④公経済負担	⑤基礎年金交付金	⑥年金保険者拠出金	⑦:①-(②+③+④+⑤)+⑥	
(注)公経済負担には基礎年金拠出金分を含まない。						独自給付費用率	⑦/⑧

地共済

独自給付費用の額						総報酬額	
①給付費総額	②公務上給付	③追加費用	④公経済負担	⑤基礎年金交付金	⑥年金保険者拠出金	⑦:①-(②+③+④+⑤)+⑥	
(注)公経済負担には基礎年金拠出金分を含まない。						独自給付費用率	⑦/⑧

●国共済の財政調整拠出額(独自給付費用率が地共済より低い場合)

国の独自給付費用率 > 地方の独自給付費用率のとき 0

国の独自給付費用率 ≤ 地方の独自給付費用率のとき (国⑧×地方⑦-地方⑧×国⑦) / (国⑧+地方⑧)

●地共済の財政調整拠出額(独自給付費用率が国共済より低い場合)

地方の独自給付費用率 > 国の独自給付費用率のとき 0

地方の独自給付費用率 ≤ 国の独自給付費用率のとき (地方⑧×国⑦-国⑧×地方⑦) / (国⑧+地方⑧)

○財政調整拠出金B(年金給付に支障を来さないための財政調整)

国共済

⑨収入の額	⑩A調整の額	⑪=⑨+⑩	⑫支出の額
-------	--------	-------	-------

地共済

⑨収入の額	⑩A調整の額	⑪=⑨+⑩	⑫支出の額
-------	--------	-------	-------

●国共済の財政調整拠出額(国⑪ > 国⑫かつ地方⑪ < 地方⑫の場合)

国⑪ > 国⑫かつ地方⑪ < 地方⑫ (地方⑫-地方⑪)と(国⑪-国⑫-地方⑩)の小さい方。マイナスの場合は、0
上記条件を満たさない場合 0

●地共済の財政調整拠出額(地方⑪ > 地方⑫かつ国⑪ < 国⑫の場合)

地方⑪ > 地方⑫かつ国⑪ < 国⑫ (国⑫-国⑪)と(地方⑪-地方⑫-国⑩)の小さい方。マイナスの場合は、0
上記条件を満たさない場合 0

＜資料の訂正 2＞

資料 2 平成 21 年財政再計算結果等について ー地方公務員共済組合ー 81 ページ

財政指標の見通し（総括表）

【地共済】

の表を裏面の通りに訂正

財政指標の見通し(総括表)

前提：基本ケース(財政再計算結果)

【地共済】

年度 (西暦)	年金扶養 比率	総合 費用率	独自給付 費用率	収支比率	積立比率
2010	1.56	18.8	15.8	100.8	10.1
2011	1.49	19.1	16.1	99.8	9.8
2012	1.43	20.1	17.2	102.9	9.1
2013	1.41	20.3	17.3	100.6	8.8
2014	1.35	21.1	18.1	99.7	8.3
2015	1.31	21.7	18.6	98.5	8.0
2016	1.32	21.6	18.4	93.2	8.0
2017	1.28	21.6	18.4	90.5	8.0
2018	1.25	21.6	18.4	87.4	8.0
2019	1.27	21.3	18.2	84.7	8.0
2020	1.25	21.3	18.2	82.8	8.1
2021	1.23	21.6	18.5	82.4	8.1
2022	1.25	21.4	18.3	80.5	8.2
2023	1.23	21.3	18.3	79.4	8.3
2024	1.22	21.5	18.5	79.6	8.4
2025	1.24	21.2	18.2	78.5	8.6
2026	1.23	21.1	18.1	77.6	8.8
2027	1.22	21.1	18.2	77.5	8.9
2028	1.21	21.2	18.2	77.3	9.0
2029	1.19	21.2	18.3	77.2	9.1
2030	1.18	21.3	18.3	77.0	9.2
2031	1.18	21.3	18.3	76.6	9.4
2032	1.17	21.3	18.4	76.4	9.5
2033	1.15	21.5	18.5	76.5	9.7
2034	1.14	21.7	18.6	76.8	9.8
2035	1.13	21.9	18.8	77.1	9.8
2036	1.12	22.1	19.0	77.5	9.9
2037	1.10	22.4	19.2	77.8	10.0
2038	1.08	22.7	19.5	78.4	10.1
2039	1.07	23.0	19.7	79.0	10.1
2040	1.06	23.2	19.9	79.4	10.2
2041	1.06	23.4	20.0	79.5	10.3
2042	1.05	23.5	20.1	79.6	10.4
2043	1.05	23.6	20.2	79.6	10.5
2044	1.05	23.8	20.3	79.6	10.6
2045	1.05	23.9	20.3	79.6	10.7
2046	1.05	24.0	20.4	79.6	10.8
2047	1.05	24.1	20.5	79.7	10.9
2048	1.05	24.3	20.6	79.8	11.0
2049	1.04	24.5	20.8	79.9	11.1
2050	1.03	24.7	20.9	80.2	11.1
2051	1.03	24.9	21.1	80.5	11.2
2052	1.02	25.2	21.3	80.9	11.2
2053	1.01	25.4	21.6	81.4	11.3
2054	1.01	25.8	21.9	82.2	11.2
2055	1.00	26.2	22.3	83.1	11.2

平成21年財政再計算結果等について

－国家公務員共済組合－

目次

1. 財政再計算の基本方針	1
(1) 経済前提の考え方	1
(2) 組合員数の前提について	1
(3) 財政方式について	1
(4) 給付水準や保険料率設定の考え方	2
(5) その他、再計算に当たって前提とした考え方(特記すべき事項)	2
2. 財政再計算に用いた基礎数・基礎率とその作成方法	8
(1) 基礎数・基礎率の種類	8
(2) 基礎数・基礎率に関して特記すべき事項	9
(3) 基礎数	10
(4) 基礎率	17
3. 将来見通しの推計方法に関する資料	42
(1) 将来推計の全体構造	42
(2) 年次別推計の算定式レベルでの計算過程	44
(3) 具体的な推計方法	62
4. 将来見通しの推計結果に関する資料	65
(1) 被保険者数、被扶養配偶者数(3号)、報酬総額の見通し	65
(2) 年金種別別 受給者数及び年金額の見通し	67
(3) 財政見通し	71
(4) 区分別給付費の見通し	73
(5) 給付水準の見通し	89
(6) 基礎年金拠出金等の見通し	国民年金のみ
(7) 公的年金被保険者数の見通し	厚年・国年のみ
5. 安定性の検証に関する資料	90
(1) 財政指標の見通し	90
(2) マクロ経済スライドのスライド調整率の見通し	厚生年金のみ
(3) 基礎年金拠出金に相当する保険料率の見通し	102
(4) 財政見通しにおける積立金の取り崩し分及び運用収入分の料率換算の見通し	104
(5) 共済年金(国共済+地共済)の財源と給付の内訳(運用利回りによる換算)	106
(6) 支出、収入、純支出のデュレーション	107
(7) 財政見通しの対GDP比	108
6. 前提等を変更した場合の試算に関する資料	109
7. 職域部分を除いた場合の保険料率の将来推移	148
8. 年金数理担当者の所見	150
9. 情報公開について	151

1. 財政再計算の基本方針

(1) 経済前提の考え方

国共済年金制度は公的年金制度の一環であり、全制度が共通の経済指標によりスライドを行う仕組みとなっていることなどにより、過去の年金数理部会報告書においても、経済前提については全制度共通とする必要があるとされていることから、これまでと同様、厚生年金の平成21年財政検証と同一の取扱いとしている。

(2) 組合員数の前提について

国共済の組合員数は、現在は国家公務員の定員削減計画「平成18年度以降の定員管理について（平成17年10月4日閣議決定）」が進められていることなどにより、減少傾向が続いている。

国共済の将来組合員数を見込むに当たっては、将来における行政改革及びそれに伴う公務員数の削減等がどのように行われるかが不明確である中で、極めて長期間にわたる見込みを立てなければならないことから、近年の組合員数の減少傾向に充分配慮しつつ、特に将来推計人口との整合性に留意して見込むことが必要かつ合理的であると考えられる。

国共済の組合員数と生産年齢人口（15～64歳人口）との過去の間接関係をみると、組合員数の生産年齢人口に対する割合は約40年前よりほぼ一貫して減少してきていたが、平成22年1月に解散する社会保険職員共済組合の組合員を除いた組合員数の対生産年齢人口割合がここ数年ほぼ一定で推移していることから、平成19年度末の当該割合が将来にわたり続くものとして、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」における出生中位（死亡中位）推計）による将来の生産年齢人口を基礎として見込むこととした。

ただし、平成21年5月29日の閣僚懇談会において内閣総理大臣から総務大臣に新たな定員合理化計画についての指示がなされたことから、平成22年度から平成26年度にかけては当該指示を勘案することとし、また、女性国家公務員の採用・登用の拡大についての各省庁人事担当課長会議申合わせ（平成16年4月28日）を勘案して、組合員に占める女性の割合を将来的に30%に引き上げることとして組合員数を推計した。

なお、その際、国の行政機関の定員削減数の推計にあたっては、平成21年度末定員の10%相当を5年間均等に削減するものとし、また、組合員に占める女性の割合については平成20年度より50年間をかけて30%まで引き上げることとした（別添資料）。

(3) 財政方式について

国共済においては、厚生年金等他の公的年金と同様世代間扶養の考え方を基本とした段階保険料方式に基づき財政運営が行われている。

また、今回の財政再計算は、再計算を行う年以降おおむね百年間に相当する期間の終了時に長期給付の支給に支障が生じないようにするために必要な積立金を保有しつつ、当該期間にわたって財政の均衡を保つことができるようにする、いわゆる有限均衡方式の考え方にに基づき行っている。

具体的には、厚生年金と同様、平成21年度以降、平成117（西暦2105）年度までの95年間で財政の均衡を図っている。また、均衡期間の終了年度における長期給付の支給に支障が生じないようにするための積立金は、厚生年金では積立度合で1倍の積立金を保有するものとしていることに鑑み、国共済及び地共済を合わせた積立度合が1倍となる場合について推計を行っている。

(4) 給付水準や保険料率設定の考え方

①給付水準の考え方

制度設計上、2階部分は厚生年金に準拠、3階部分は2階部分の2割という従来からの考え方を踏襲している。

②保険料率設定の考え方

平成16年の制度改正により厚生年金の保険料率が毎年9月（ただし、平成16年は10月）に引き上げることに改められたことに伴い、国共済及び地共済においても厚生年金に合わせ、毎年9月（ただし、平成16年は10月）に保険料率を引き上げることとしている。

平成21年財政再計算における保険料率の設定については、地共済との財政単位の一元化の枠組みの下、以下の点を考慮のうえ、毎年の保険料の引上げ幅を0.354%として再計算を行ったところである。

- ・ 今後、保険料率を毎年引き上げることは避けられないところであり、組合員の毎年の負担増と将来の負担増との均衡を配慮して引上げ幅を決める必要があること。
- ・ 平成22年9月以降の保険料率の毎年の引上げ幅は、法定化されている厚生年金の保険料率の引上げ幅を下回らないものとするとしていること。
- ・ 近年の給与改定及び賞与削減など国家公務員等を巡る社会経済情勢等を勘案すると、組合員の負担増に配慮する必要があること。

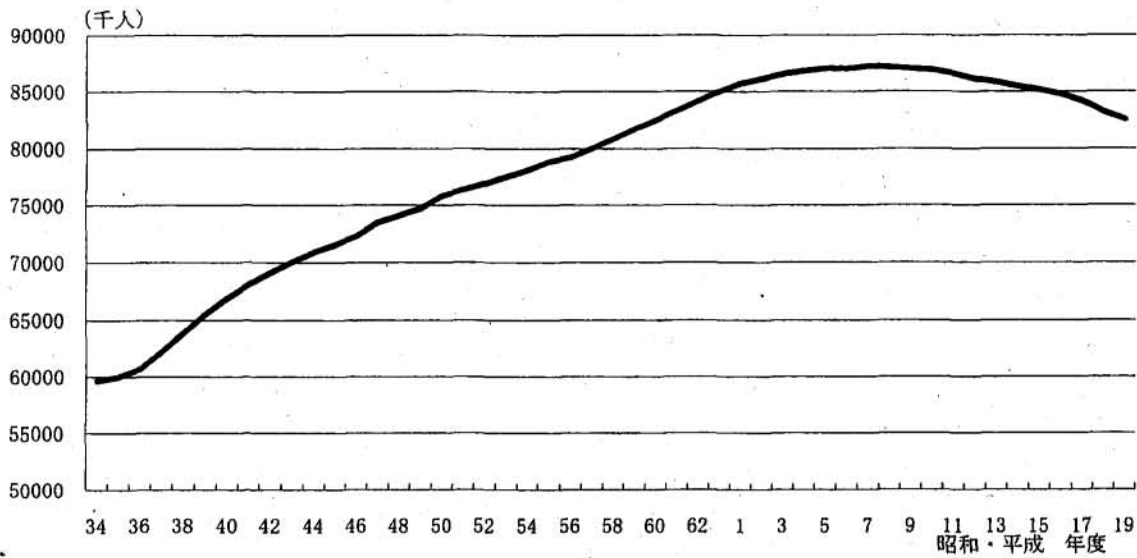
(5) その他、再計算に当たって前提とした考え方（特記すべき事項）

国共済及び地共済の財政単位の一元化を図るための財政調整制度を前提としている。

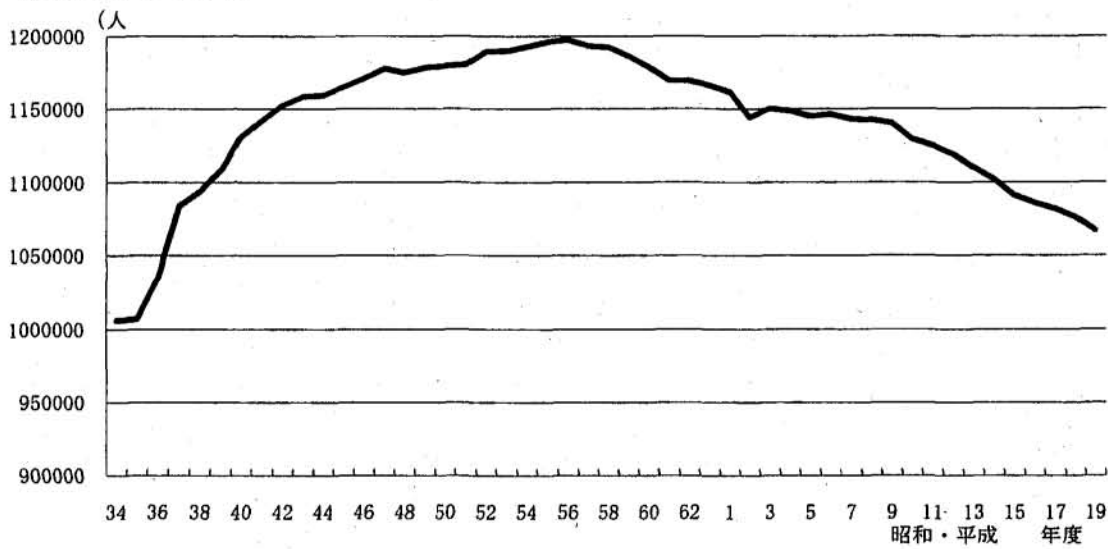
(別添資料)

生産年齢人口、国共済組合員数及び生産年齢人口割合の過去の推移

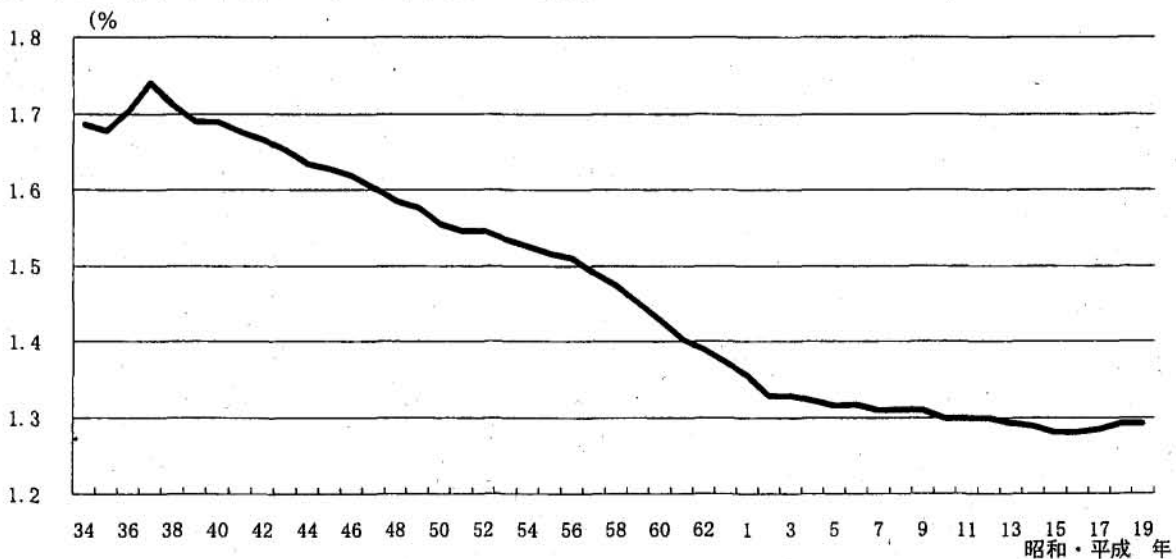
① 生産年齢人口



② 国共済組合員数



③ 国共済組合員数の対生産年齢人口割合



国共済組合員数の見込み方

年度	生産年齢人口		組合員数			
	千人	伸び率	千人	対生産年齢人口割合		伸び率
		%		%	伸び率	
和暦西暦	千人	%	千人	%	%	%
13 2001	85,840	▲ 0.3	1,110	1.2936	-0.5	▲ 0.8
14 2002	85,460	▲ 0.4	1,102	1.2897	-0.3	▲ 0.7
15 2003	85,180	▲ 0.3	1,091	1.2809	-0.7	▲ 1.0
16 2004	84,765	▲ 0.5	1,086	1.2813	0.0	▲ 0.5
17 2005	84,190	▲ 0.7	1,082	1.2852	0.3	▲ 0.4
18 2006	83,252	▲ 1.1	1,076	1.2930	0.6	▲ 0.5
19 2007	82,568	▲ 0.8	1,067	1.2926	-0.0	▲ 0.9
20 2008	81,869	▲ 0.8	1,056	1.2898	-0.2	▲ 1.1
21 2009	81,375	▲ 0.6	1,037	1.2738	-1.2	▲ 1.8
22 2010	81,165	▲ 0.3	1,028	1.2662	-0.6	▲ 0.9
23 2011	80,490	▲ 0.8	1,013	1.2584	-0.6	▲ 1.4
24 2012	79,315	▲ 1.5	992	1.2504	-0.6	▲ 2.1
25 2013	78,218	▲ 1.4	972	1.2422	-0.7	▲ 2.0
26 2014	77,166	▲ 1.3	952	1.2338	-0.7	▲ 2.0
27 2015	76,317	▲ 1.1	942	1.2338	-	▲ 1.1
28 2016	75,617	▲ 0.9	933	1.2338	-	▲ 0.9
29 2017	74,980	▲ 0.8	925	1.2338	-	▲ 0.8
30 2018	74,411	▲ 0.8	918	1.2338	-	▲ 0.8
31 2019	73,875	▲ 0.7	911	1.2338	-	▲ 0.7
32 2020	73,354	▲ 0.7	905	1.2338	-	▲ 0.7
33 2021	72,878	▲ 0.6	899	1.2338	-	▲ 0.6
34 2022	72,397	▲ 0.7	893	1.2338	-	▲ 0.7
35 2023	71,810	▲ 0.8	886	1.2338	-	▲ 0.8
36 2024	71,235	▲ 0.8	879	1.2338	-	▲ 0.8
37 2025	70,648	▲ 0.8	872	1.2338	-	▲ 0.8
38 2026	70,029	▲ 0.9	864	1.2338	-	▲ 0.9
39 2027	69,366	▲ 0.9	856	1.2338	-	▲ 0.9
40 2028	68,654	▲ 1.0	847	1.2338	-	▲ 1.0
41 2029	67,844	▲ 1.2	837	1.2338	-	▲ 1.2
42 2030	67,062	▲ 1.2	827	1.2338	-	▲ 1.2
43 2031	66,389	▲ 1.0	819	1.2338	-	▲ 1.0
44 2032	65,433	▲ 1.4	807	1.2338	-	▲ 1.4
45 2033	64,445	▲ 1.5	795	1.2338	-	▲ 1.5
46 2034	63,450	▲ 1.5	783	1.2338	-	▲ 1.5
47 2035	62,397	▲ 1.7	770	1.2338	-	▲ 1.7
48 2036	61,283	▲ 1.8	756	1.2338	-	▲ 1.8
49 2037	60,129	▲ 1.9	742	1.2338	-	▲ 1.9
50 2038	58,969	▲ 1.9	728	1.2338	-	▲ 1.9
51 2039	57,862	▲ 1.9	714	1.2338	-	▲ 1.9
52 2040	56,856	▲ 1.7	701	1.2338	-	▲ 1.7
53 2041	55,932	▲ 1.6	690	1.2338	-	▲ 1.6
54 2042	55,043	▲ 1.6	679	1.2338	-	▲ 1.6
55 2043	54,196	▲ 1.5	669	1.2338	-	▲ 1.5
56 2044	53,397	▲ 1.5	659	1.2338	-	▲ 1.5
57 2045	52,653	▲ 1.4	650	1.2338	-	▲ 1.4
58 2046	51,928	▲ 1.4	641	1.2338	-	▲ 1.4
59 2047	51,190	▲ 1.4	632	1.2338	-	▲ 1.4
60 2048	50,430	▲ 1.5	622	1.2338	-	▲ 1.5
61 2049	49,684	▲ 1.5	613	1.2338	-	▲ 1.5
62 2050	48,954	▲ 1.5	604	1.2338	-	▲ 1.5
63 2051	48,256	▲ 1.4	595	1.2338	-	▲ 1.4
64 2052	47,581	▲ 1.4	587	1.2338	-	▲ 1.4
65 2053	46,906	▲ 1.4	579	1.2338	-	▲ 1.4
66 2054	46,272	▲ 1.4	571	1.2338	-	▲ 1.4
67 2055	45,662	▲ 1.3	563	1.2338	-	▲ 1.3
68 2056	45,038	▲ 1.4	556	1.2338	-	▲ 1.4
69 2057	44,414	▲ 1.4	548	1.2338	-	▲ 1.4
70 2058	43,789	▲ 1.4	540	1.2338	-	▲ 1.4
71 2059	43,118	▲ 1.5	532	1.2338	-	▲ 1.5
72 2060	42,480	▲ 1.5	524	1.2338	-	▲ 1.5

(つづき)

年度	生産年齢人口		組合員数	対生産年齢人口割合		伸び率	
	千人	伸び率		千人	伸び率		
和暦	西暦	千人	%	千人	%	%	
73	2061	41,817	▲ 1.6	516	1.2338	-	▲ 1.6
74	2062	41,154	▲ 1.6	508	1.2338	-	▲ 1.6
75	2063	40,474	▲ 1.7	499	1.2338	-	▲ 1.7
76	2064	39,805	▲ 1.7	491	1.2338	-	▲ 1.7
77	2065	39,132	▲ 1.7	483	1.2338	-	▲ 1.7
78	2066	38,472	▲ 1.7	475	1.2338	-	▲ 1.7
79	2067	37,832	▲ 1.7	467	1.2338	-	▲ 1.7
80	2068	37,212	▲ 1.6	459	1.2338	-	▲ 1.6
81	2069	36,611	▲ 1.6	452	1.2338	-	▲ 1.6
82	2070	36,029	▲ 1.6	445	1.2338	-	▲ 1.6
83	2071	35,459	▲ 1.6	437	1.2338	-	▲ 1.6
84	2072	34,924	▲ 1.5	431	1.2338	-	▲ 1.5
85	2073	34,414	▲ 1.5	425	1.2338	-	▲ 1.5
86	2074	33,924	▲ 1.4	419	1.2338	-	▲ 1.4
87	2075	33,453	▲ 1.4	413	1.2338	-	▲ 1.4
88	2076	32,997	▲ 1.4	407	1.2338	-	▲ 1.4
89	2077	32,557	▲ 1.3	402	1.2338	-	▲ 1.3
90	2078	32,128	▲ 1.3	396	1.2338	-	▲ 1.3
91	2079	31,710	▲ 1.3	391	1.2338	-	▲ 1.3
92	2080	31,302	▲ 1.3	386	1.2338	-	▲ 1.3
93	2081	30,900	▲ 1.3	381	1.2338	-	▲ 1.3
94	2082	30,506	▲ 1.3	376	1.2338	-	▲ 1.3
95	2083	30,117	▲ 1.3	372	1.2338	-	▲ 1.3
96	2084	29,733	▲ 1.3	367	1.2338	-	▲ 1.3
97	2085	29,353	▲ 1.3	362	1.2338	-	▲ 1.3
98	2086	28,975	▲ 1.3	357	1.2338	-	▲ 1.3
99	2087	28,601	▲ 1.3	353	1.2338	-	▲ 1.3
100	2088	28,228	▲ 1.3	348	1.2338	-	▲ 1.3
101	2089	27,858	▲ 1.3	344	1.2338	-	▲ 1.3
102	2090	27,489	▲ 1.3	339	1.2338	-	▲ 1.3
103	2091	27,122	▲ 1.3	335	1.2338	-	▲ 1.3
104	2092	26,756	▲ 1.3	330	1.2338	-	▲ 1.3
105	2093	26,393	▲ 1.4	326	1.2338	-	▲ 1.4
106	2094	26,033	▲ 1.4	321	1.2338	-	▲ 1.4
107	2095	25,677	▲ 1.4	317	1.2338	-	▲ 1.4
108	2096	25,326	▲ 1.4	312	1.2338	-	▲ 1.4
109	2097	24,980	▲ 1.4	308	1.2338	-	▲ 1.4
110	2098	24,640	▲ 1.4	304	1.2338	-	▲ 1.4
111	2099	24,308	▲ 1.3	300	1.2338	-	▲ 1.3
112	2100	23,983	▲ 1.3	296	1.2338	-	▲ 1.3
113	2101	23,667	▲ 1.3	292	1.2338	-	▲ 1.3
114	2102	23,360	▲ 1.3	288	1.2338	-	▲ 1.3
115	2103	23,061	▲ 1.3	285	1.2338	-	▲ 1.3
116	2104	22,772	▲ 1.3	281	1.2338	-	▲ 1.3
117	2105	22,491	▲ 1.2	277	1.2338	-	▲ 1.2

注1. 生産年齢人口の推計は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」の出生中位(死亡中位)推計による。

- 平成19年度までの生産年齢人口は翌年度4月1日現在の実績値である。
- 平成22年度末に社会保険職員共済組合が解散するものとして推計している。
- 日本郵政共済組合は引き続き国共済に加入するものとしている。

男女別国共済組合員数の見込み

年度		組合員数			
		男子	女子	女子割合	
和暦	西暦	千人	千人	千人	%
13	2001	1,110	913	197	17.8
14	2002	1,102	905	197	17.9
15	2003	1,091	894	198	18.1
16	2004	1,086	885	201	18.5
17	2005	1,082	878	204	18.8
18	2006	1,076	868	208	19.3
19	2007	1,067	854	214	20.0
20	2008	1,056	842	214	20.2
21	2009	1,037	825	212	20.4
22	2010	1,028	816	212	20.6
23	2011	1,013	802	211	20.8
24	2012	992	783	208	21.0
25	2013	972	765	206	21.2
26	2014	952	748	204	21.4
27	2015	942	738	204	21.6
28	2016	933	729	204	21.8
29	2017	925	721	204	22.0
30	2018	918	714	204	22.2
31	2019	911	707	204	22.4
32	2020	905	700	205	22.6
33	2021	899	694	205	22.8
34	2022	893	688	206	23.0
35	2023	886	680	206	23.2
36	2024	879	673	206	23.4
37	2025	872	666	206	23.6
38	2026	864	658	206	23.8
39	2027	856	650	206	24.0
40	2028	847	642	205	24.2
41	2029	837	633	204	24.4
42	2030	827	624	204	24.6
43	2031	819	616	203	24.8
44	2032	807	605	202	25.0
45	2033	795	595	200	25.2
46	2034	783	584	199	25.4
47	2035	770	573	197	25.6
48	2036	756	561	195	25.8
49	2037	742	549	193	26.0
50	2038	728	537	191	26.2
51	2039	714	525	189	26.4
52	2040	701	515	187	26.6
53	2041	690	505	185	26.8
54	2042	679	496	183	27.0
55	2043	669	487	182	27.2
56	2044	659	478	181	27.4
57	2045	650	470	179	27.6
58	2046	641	463	178	27.8
59	2047	632	455	177	28.0
60	2048	622	447	175	28.2
61	2049	613	439	174	28.4
62	2050	604	431	173	28.6
63	2051	595	424	171	28.8
64	2052	587	417	170	29.0
65	2053	579	410	169	29.2
66	2054	571	403	168	29.4
67	2055	563	397	167	29.6
68	2056	556	390	166	29.8
69	2057	548	384	164	30.0
70	2058	540	378	162	30.0
71	2059	532	372	160	30.0
72	2060	524	367	157	30.0

(つづき)

年度	組合員数			
		男子	女子	女子割合
和暦西暦	千人	千人	千人	%
73 2061	516	361	155	30.0
74 2062	508	355	152	30.0
75 2063	499	350	150	30.0
76 2064	491	344	147	30.0
77 2065	483	338	145	30.0
78 2066	475	332	142	30.0
79 2067	467	327	140	30.0
80 2068	459	321	138	30.0
81 2069	452	316	136	30.0
82 2070	445	311	133	30.0
83 2071	437	306	131	30.0
84 2072	431	302	129	30.0
85 2073	425	297	127	30.0
86 2074	419	293	126	30.0
87 2075	413	289	124	30.0
88 2076	407	285	122	30.0
89 2077	402	281	121	30.0
90 2078	396	277	119	30.0
91 2079	391	274	117	30.0
92 2080	386	270	116	30.0
93 2081	381	267	114	30.0
94 2082	376	263	113	30.0
95 2083	372	260	111	30.0
96 2084	367	257	110	30.0
97 2085	362	253	109	30.0
98 2086	357	250	107	30.0
99 2087	353	247	106	30.0
100 2088	348	244	104	30.0
101 2089	344	241	103	30.0
102 2090	339	237	102	30.0
103 2091	335	234	100	30.0
104 2092	330	231	99	30.0
105 2093	326	228	98	30.0
106 2094	321	225	96	30.0
107 2095	317	222	95	30.0
108 2096	312	219	94	30.0
109 2097	308	216	92	30.0
110 2098	304	213	91	30.0
111 2099	300	210	90	30.0
112 2100	296	207	89	30.0
113 2101	292	204	88	30.0
114 2102	288	202	86	30.0
115 2103	285	199	85	30.0
116 2104	281	197	84	30.0
117 2105	277	194	83	30.0

(注) 女子の割合は50年かけて30%となるよう逡増させている。

2. 財政再計算に用いた基礎数・基礎率とその作成方法

(1) 基礎数・基礎率の種類

将来推計人口

(「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」(中位推計)国立社会保障・人口問題研究所)

① 基礎数

基礎数	現在組合員 性別、年齢別、組合員期間別	被保険者数 平均組合員期間 標準報酬月額 報酬累計額(再評価後)
	年金受給権者 性別、年齢別、年金の種類別(※)	受給権者数 年金額
	年金待期者 性別、年齢別	待期者数 平均組合員期間、平均標準報酬月額

※退職年金(退年相当、通年相当)、障害年金、遺族年金

② 基礎率

基礎率	総脱退率(性別、年齢別)
	公務上死力(性別)
	公務外死力(性別、年齢別)
	公務上障害共済年金発生力(性別)
	公務外障害共済年金発生力(性別、年齢別)
	標準報酬指数(性別、年齢別)
	報酬年額に対する期末手当等の割合(性別、年齢別)
	退職共済(退職)年金失権率(性別、年齢別、年度別)
	障害共済(障害)年金失権率(性別、年齢別、年度別)
	遺族共済(遺族)年金失権率(性別、年齢別、年度別)
	有遺族率(性別、年齢別)
	障害共済年金の加給年金対象率(性別)
	障害共済年金の等級別割合(性別)
	新規加入者発生割合(性別、年齢別)
	新規加入者の標準報酬月額(性別、年齢別)
	年金停止率(年度別)
	被扶養配偶率(性別、年齢別)
被扶養配偶者の年齢(性別、年齢別)	
加給年金対象率(性別、年齢別)	
遺族の年齢(性別、年齢別)	

(2) 基礎数・基礎率に関して特記すべき事項

●基礎数についての考え方

現在組合員：平成19年度組合員動態統計調査(2割抽出)より作成。
19年度末の調査対象者を年齢別、組合期間別に区分し、合計が実績値に
合うように抽出倍率を乗じて作成。

年金受給権者：平成19年度末の実績値。

待期者：平成19年度末の実績値を一部補正して作成。
(補正方法)性別、年齢別の待期者を脱退年度から平成19年度までの累積の
生存率(1-失権率)を乗じて作成。

●基礎率についての考え方

失権率については、将来推計人口における死亡率の改善に合わせ、2055年まで改善している。

●その他再計算に当たって前提とした考え方

基礎年金拠出金単価・交付金及び年金保険者拠出金は厚生労働省が作成したものとした。

(3) 基礎数

①基礎数の元となる統計の概要と算定方法等

基礎数の種類	ア. 元となる統計 [内容(表別、集計項目、集計対象等)、使用年度、出所、抽出方法等]		イ. 作成方法 [概要、加工・補正又は補完等の方法]	
現在組合員	動態統計調査 平成19年度	年度末において組合員であった者のうち2割を抽出調査	性別、年齢別、組合員期間別に組合員数、組合員期間、標準報酬額等を作成。	19年度末の調査対象者に合計が実績値に合うよう抽出倍率を乗じて作成した。
年金受給権者	年金受給権者統計 平成19年度	年度末の年金受給権者	性別、年齢別、年金種別、退職年度別に受給権者数、組合員期間、年金額、全期間平均標準報酬額を作成。	全数
待期者	年金受給権者統計 平成19年度	年度末の年金待期者	性別、年齢別、組合員期間、平均標準報酬額を作成	脱退年度から19年度までの累積の生存率(1-失権率)を乗じて作成。

※遺族共済年金の性別は、死亡した組合員の性別で区分している。

②基礎数を基に作成した資料

A. 被保険者の性別・年齢階級別の加入期間別人数、平均被保険者期間、平均標準報酬月額

○男性

年齢階級	被保険者数	加入期間別 [(年以上)~(年未満)]									平均被保険者期間 (月数)	平均標準報酬月額 (月額)
		~5	5~10	10~15	15~20	20~25	25~30	30~35	35~40	40~		
		人	人	人	人	人	人	人	人	人		
~19	10,309	10,309									12.69	184,036
20~24	51,398	40,477	10,921								35.96	210,807
25~29	78,673	33,593	33,048	12,032							67.59	271,985
30~34	118,175	14,101	33,326	47,197	23,551						123.90	340,988
35~39	132,884	7,104	10,820	29,142	63,639	22,179					182.61	409,631
40~44	125,539	3,252	4,726	7,763	27,537	59,243	23,018				243.44	469,799
45~49	124,132	1,479	2,203	3,753	9,950	25,346	60,269	21,132			301.60	512,475
50~54	103,335	797	964	1,499	3,964	7,127	24,657	47,521	16,806		357.73	537,498
55~59	77,315	649	759	637	1,598	2,777	6,481	18,623	35,083	10,708	409.76	550,216
60~64	22,068	399	361	328	397	651	1,493	4,177	6,229	8,033	421.80	533,990
65歳以上	1,361	63	38	28	33	45	46	189	440	479	410.57	605,884

○女性

年齢階級	被保険者数	加入期間別 [(年以上)~(年未満)]									平均被保険者期間 (月数)	平均標準報酬月額 (月額)
		~5	5~10	10~15	15~20	20~25	25~30	30~35	35~40	40~		
		人	人	人	人	人	人	人	人	人		
~19	1,641	1,641									10.44	177,384
20~24	24,869	23,334	1,535								24.83	227,839
25~29	37,267	22,808	12,971	1,488							51.66	276,748
30~34	40,361	7,080	13,049	15,544	4,688						110.39	317,735
35~39	35,972	3,573	2,861	9,381	17,193	2,964					167.93	366,117
40~44	23,816	1,811	1,539	1,825	6,036	10,600	2,005				217.99	416,662
45~49	18,286	953	920	1,076	1,663	4,103	8,069	1,502			269.69	455,087
50~54	14,722	484	523	716	963	1,118	3,270	6,364	1,284		323.88	473,077
55~59	12,735	327	367	450	817	875	991	2,770	5,238	900	370.04	466,708
60~64	3,100	64	93	116	183	257	275	355	885	872	387.48	450,916
65歳以上	84	7		6	10	4	3	9	13	32	369.81	580,585

B. 各年金種別の受給権者の年齢階級別の人数、平均年金額

○老齢・退職年金(老齢・退年相当)

年齢階級	受給権者数	平均年金額 (月額)
	人	円
~59	637	101,279
60~64	119,753	160,267
65~69	121,333	145,250
70~74	132,663	143,656
75~79	141,603	174,849
80~84	87,034	213,974
85~89	33,911	220,227
90~94	12,563	211,388
95歳以上	3,461	208,510

○老齢・退職年金(通老・通退相当)

年齢階級	受給権者数	平均年金額 (月額)
	人	円
~59	0	0
60~64	52,164	15,604
65~69	28,189	17,040
70~74	11,813	33,710
75~79	7,891	45,574
80~84	5,302	58,736
85~89	1,799	68,140
90~94	665	69,669
95歳以上	150	71,297

○障害年金

年齢階級	受給権者数	平均年金額 (月額)
	人	円
~19	1	38,758
20~24	22	42,474
25~29	104	50,565
30~34	406	52,821
35~39	855	53,375
40~44	984	57,880
45~49	1,097	70,200
50~54	1,507	82,472
55~59	2,569	93,576
60~64	2,713	105,936
65~69	1,745	112,680
70~74	1,298	144,622
75~79	1,004	186,552
80~84	469	216,431
85~89	145	216,364
90~94	41	248,831
95歳以上	11	168,533

○遺族年金

年齢階級	受給権者数	平均年金額 (月額)
	人	円
0~4	12	40,674
5~9	55	44,921
10~14	146	51,699
15~19	237	52,570
20~24	37	60,610
25~29	59	78,147
30~34	178	92,495
35~39	526	93,521
40~44	1,025	93,479
45~49	2,107	94,641
50~54	4,150	94,641
55~59	9,287	94,585
60~64	13,368	106,856
65~69	22,023	104,747
70~74	40,200	116,191
75~79	58,362	125,236
80~84	55,315	128,643
85~89	37,960	125,050
90~94	18,305	123,633
95歳以上	6,309	123,383

③基礎数の具体的な数値<※資料が膨大になるため、一部を抜粋し、具体例として提示する。>

○ 組合員

年齢 (歳)	組合員 期間 (年)	組合員数 (人)	平均組合員 期間 (年)	年度末標準 報酬月額 (百円)	平均標準報酬額 毎年再評価 (百円)
15歳 以下	0年				
	1年				
16歳	0年				
	1年	337	1.00	1,677	2,054
17歳	0年				
	1年	41	1.00	1,705	2,082
	2年	317	2.00	1,833	2,115
18歳	0年	1,763	0.09	1,709	2,047
	1年				
	2年	47	2.00	1,824	2,154
	3年	331	3.00	1,891	2,256
19歳	0年	370	0.30	1,682	2,107
	1年	6,779	1.07	1,883	2,083
	2年				
	3年	46	3.00	1,916	2,282
	4年	278	4.00	1,996	2,392
20歳	0年	467	0.32	1,717	2,181
	1年	1,430	1.15	1,835	2,058
	2年	5,917	2.07	1,945	2,303
	3年				
	4年	47	4.00	2,058	2,337
	5年	291	5.00	2,072	2,483
21歳	0年	364	0.34	1,786	2,203
	1年	2,152	1.09	1,881	2,128
	2年	1,386	2.17	1,998	2,287
	3年	5,126	3.07	2,015	2,371
	4年				
	5年	34	5.00	2,087	2,445
	6年	246	6.00	2,128	2,456
22歳	0年	580	0.23	1,828	2,358
	1年	1,106	1.14	1,917	2,221
	2年	1,968	2.11	2,089	2,356
	3年	1,391	3.23	2,035	2,359
	4年	4,473	4.07	2,122	2,451
	5年				
	6年	46	6.00	2,218	2,460
	7年	229	7.00	2,828	2,571
23歳	0年	584	0.38	1,936	2,342
	1年	2,669	1.07	2,048	2,375
	2年	1,034	2.18	2,145	2,442
	3年	1,559	3.11	2,153	2,457
	4年	1,065	4.17	2,176	2,442
	5年	4,886	5.07	2,275	2,582
	6年	6	8.08	2,151	2,035
	7年	44	7.00	2,228	2,368
	8年				
24歳	0年	574	0.32	1,948	2,405
	1年	2,230	1.12	2,070	2,412
	2年	2,437	2.09	2,299	2,612
	3年	741	3.27	2,243	2,577
	4年	1,186	4.12	2,279	2,534
	5年	879	5.15	2,357	2,506
	6年	4,413	6.06	2,455	2,572
	7年				
	8年	38	8.08	2,329	2,438
	9年				
25歳	0年	702	0.37	2,188	2,509
	1年	2,034	1.17	2,181	2,508
	2年	2,202	2.14	2,332	2,649
	3年	2,011	3.08	2,454	2,798
	4年	552	4.20	2,391	2,685
	5年	1,026	5.08	2,488	2,676
	6年	918	6.16	2,476	2,503
	7年	3,682	7.08	2,612	2,606
	8年				
	9年	33	9.08	3,061	2,626
	10年				
26歳	0年	707	0.42	2,188	2,498
	1年	1,822	1.14	2,222	2,548
	2年	2,212	2.18	2,447	2,741
	3年	1,774	3.17	2,521	2,856
	4年	1,846	4.08	2,567	2,901
	5年	455	5.13	2,485	2,727
	6年	1,024	6.14	2,516	2,645
	7年	913	7.15	2,647	2,589
	8年	3,568	8.03	2,780	2,647
	9年				
	10年	327	10.12	3,237	2,597

年齢 (歳)	組合員 期間 (年)	組合員数 (人)	平均組合員 期間 (年)	年度末標準 報酬月額 (百円)	平均標準報酬額 毎年再評価 (百円)
15歳 以下	0年				
	1年				
16歳	0年				
	1年				
17歳	0年				
	1年				
	2年				
18歳	0年	239	0.08	1,732	2,057
	1年				
	2年				
	3年				
19歳	0年	72	0.39	1,691	2,041
	1年	1,330	1.04	1,786	2,023
	2年				
	3年				
	4年				
20歳	0年	65	0.31	1,695	2,172
	1年	449	1.06	1,769	2,001
	2年	1,181	2.03	1,958	2,218
	3年				
	4年				
	5年				
21歳	0年	40	0.67	2,002	2,328
	1年	919	1.03	1,854	2,159
	2年	477	2.04	1,963	2,191
	3年	748	3.05	2,044	2,352
	4年				
	5年				
	6年				
22歳	0年	149	0.41	2,033	2,482
	1年	2,579	1.01	2,259	2,709
	2年	823	2.03	2,142	2,368
	3年	296	3.03	2,050	2,328
	4年	726	4.04	2,073	2,394
	5年				
	6年				
	7年				
23歳	0年	251	0.58	2,142	2,464
	1年	3,950	1.01	2,189	2,597
	2年	2,188	2.18	2,551	2,851
	3年	540	3.12	1,992	2,439
	4年	284	4.03	2,106	2,388
	5年	646	5.04	2,167	2,504
	6年				
	7年				
	8年				
24歳	0年	214	0.48	2,237	2,641
	1年	1,898	1.10	2,266	2,674
	2年	3,312	2.02	2,569	2,858
	3年	1,808	3.01	2,762	3,118
	4年	437	4.02	2,300	2,607
	5年	252	5.05	2,235	2,463
	6年	637	6.03	2,299	2,520
	7年				
	8年				
	9年				
25歳	0年	345	0.49	2,288	2,615
	1年	1,206	1.11	2,267	2,716
	2年	1,743	2.09	2,617	2,934
	3年	2,434	3.04	2,741	3,113
	4年	1,285	4.01	2,840	3,221
	5年	389	5.05	2,391	2,645
	6年	287	6.05	2,453	2,501
	7年	500	7.03	2,481	2,517
	8年				
	9年				
	26歳	0年	303	0.49	2,420
1年		989	1.13	2,424	2,834
2年		1,160	2.12	2,598	2,920
3年		1,486	3.10	2,776	3,173
4年		2,337	4.05	2,823	3,222
5年		442	5.01	2,857	3,206
6年		346	6.02	2,429	2,623
7年		231	7.46	2,515	2,467
8年		448	8.07	2,563	2,589
9年					
10年					

【以下、省略】

○ 待期者

平成19年度末現在 待期者年齢別統計表

種別	待期者							
	男				女			
	人数 (人)	組合員期間 (年)	平均標準報酬月額 ～2002年 (千円)	平均標準報酬額 2003年～ (千円)	人数 (人)	組合員期間 (年)	平均標準報酬月額 ～2002年 (千円)	平均標準報酬額 2003年～ (千円)
15歳	0	0	0	0	0	0	0	0
16歳	16	0.38	0.00	188.60	0	0	0	0
17歳	29	0.58	0.00	183.90	0	0	0	0
18歳	62	1.57	0.00	206.87	0	0	0	0
19歳	997	0.52	0.00	187.20	81	0.42	0.00	185.98
20歳	1,954	1.07	0.00	205.52	200	1.06	0.00	201.71
21歳	2,390	1.38	78.60	210.41	356	1.35	0.00	211.51
22歳	3,298	2.05	29.35	219.55	543	1.76	0.00	225.82
23歳	4,404	2.34	159.35	227.89	865	1.87	73.07	240.13
24歳	5,223	2.71	167.75	219.97	1,333	2.05	170.18	253.45
25歳	5,067	2.87	175.01	208.01	1,885	2.29	175.65	268.70
26歳	5,174	2.85	178.11	201.32	2,615	2.42	188.07	286.07
27歳	5,592	3.05	183.56	174.40	3,276	2.76	213.03	283.60
28歳	7,416	3.36	186.80	151.25	3,733	2.94	229.90	281.27
29歳	7,691	3.40	188.08	117.96	4,448	3.20	238.92	255.82
30歳	7,810	3.49	191.47	109.81	4,956	3.50	243.53	220.76
31歳	7,465	3.58	194.61	108.26	5,610	3.78	245.81	193.18
32歳	8,637	3.79	200.69	101.42	6,268	4.18	244.82	159.22
33歳	12,164	4.07	202.16	80.26	7,642	4.59	242.60	133.39
34歳	12,822	3.99	204.13	75.26	8,172	5.04	241.68	113.23
35歳	14,055	3.91	204.42	66.05	7,930	5.19	246.75	102.64
36歳	15,503	3.87	203.07	57.39	7,937	5.21	253.95	93.03
37歳	16,745	3.66	200.03	48.46	7,381	5.12	260.04	79.95
38歳	17,849	3.71	199.17	46.86	7,019	5.37	263.73	78.97
39歳	18,298	3.73	197.79	42.54	7,182	5.28	261.53	65.94
40歳	17,516	3.84	201.45	44.96	7,420	5.48	256.33	57.52
41歳	14,533	4.07	211.15	47.44	6,388	5.54	256.19	52.70
42歳	15,796	4.25	218.80	45.07	6,481	5.41	253.74	48.48
43歳	16,014	4.42	225.36	46.57	6,901	5.59	251.31	41.17
44歳	15,594	4.55	231.27	45.99	6,678	5.67	248.70	36.67
45歳	16,438	4.69	230.45	41.57	6,553	5.77	245.14	36.74
46歳	16,322	4.82	232.74	41.22	6,394	5.68	241.60	31.96
47歳	17,080	4.93	233.76	36.96	6,729	5.86	238.94	34.70
48歳	17,992	5.10	235.06	37.47	6,634	5.89	236.19	31.75
49歳	17,601	5.29	238.88	40.97	6,829	6.16	236.29	33.95
50歳	16,634	5.28	240.77	36.42	6,662	6.52	237.76	37.63
51歳	16,369	5.93	242.91	45.53	6,829	7.32	236.88	46.54
52歳	17,285	5.98	241.08	47.79	6,288	7.75	239.27	55.71
53歳	19,228	6.17	236.31	48.38	5,784	8.67	247.61	67.39
54歳	25,048	11.44	255.08	163.35	5,273	9.98	252.33	86.55
55歳	27,348	12.29	253.47	182.42	4,891	11.69	260.99	108.93
56歳	29,853	12.69	252.75	191.68	4,498	13.64	270.87	133.49
57歳	33,795	13.10	248.91	197.76	4,201	15.72	283.09	158.33
58歳	38,044	13.97	248.65	209.33	4,064	17.43	291.61	186.24
59歳	38,864	15.64	254.17	152.67	3,537	21.00	303.23	224.04
60歳	19,588	9.45	209.40	81.06	601	22.15	318.23	258.66
61歳	12,267	4.09	159.96	11.78	87	17.35	324.18	238.04
62歳	7,768	3.72	147.34	5.26	14	31.26	359.84	617.24
63歳	9,283	3.43	140.21	2.01	0	0.00	0.00	0.00
64歳	9,724	3.43	135.04	0.68	3	1.69	122.03	6.98
合計	666,645				209,169			

〇年金額

国債支費 (注)

種別	建設国債支費		債借国債支費		国債支費 (計)	
	建設国債	債借国債	建設国債	債借国債	建設国債	債借国債
90	0	0	11,702	4,183	11,702	4,183
91	0	0	10,016	0	10,016	0
92	0	0	21,246	0	21,246	0
93	0	0	0	0	0	0
94	0	0	0	0	0	0
95	0	0	35,238	0	35,238	0
96	0	0	31,224	0	31,224	0
97	0	0	14,058	0	14,058	0
98	0	0	31,274	0	31,274	0
99	0	0	42,328	0	42,328	0
100	0	0	102,275	0	102,275	0
101	0	0	100,649	0	100,649	0
102	0	0	178,296	0	178,296	0
103	0	0	185,834	0	185,834	0
104	0	0	295,712	0	295,712	0
105	0	0	278,259	0	278,259	0
106	0	0	289,699	0	289,699	0
107	0	0	325,829	0	325,829	0
108	0	0	431,274	0	431,274	0
109	0	0	185,003	0	185,003	0
110	0	0	31,860	0	31,860	0
111	0	0	7,654	0	7,654	0
112	0	0	28,427	0	28,427	0
113	0	0	21,917	0	21,917	0
114	0	0	40,200	0	40,200	0
115	0	0	38,266	0	38,266	0
116	0	0	44,119	0	44,119	0
117	0	0	32,937	0	32,937	0
118	0	0	128,907	0	128,907	0
119	0	0	128,011	0	128,011	0
120	0	0	352,022	0	352,022	0
121	0	0	189,819	0	189,819	0
122	0	0	165,277	0	165,277	0
123	0	0	223,794	0	223,794	0
124	0	0	285,800	0	285,800	0
125	0	0	311,777	0	311,777	0
126	0	0	425,223	0	425,223	0
127	0	0	625,746	0	625,746	0
128	0	0	625,746	0	625,746	0
129	0	0	1,022,821	0	1,022,821	0
130	0	0	1,231,854	0	1,231,854	0
131	0	0	1,172,139	0	1,172,139	0
132	0	0	1,814,000	0	1,814,000	0
133	0	0	1,872,965	0	1,872,965	0
134	0	0	1,151,017	0	1,151,017	0
135	0	0	1,271,946	0	1,271,946	0
136	0	0	1,497,718	0	1,497,718	0
137	0	0	2,898,822	0	2,898,822	0
138	0	0	1,621,829	0	1,621,829	0
139	0	0	1,818,041	0	1,818,041	0
140	0	0	1,784,494	0	1,784,494	0
141	0	0	2,028,534	0	2,028,534	0
142	0	0	2,201,900	0	2,201,900	0
143	0	0	2,442,444	0	2,442,444	0
144	0	0	2,871,600	0	2,871,600	0
145	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
146	0	0	3,848,215	0	3,848,215	0
147	0	0	4,248,865	0	4,248,865	0
148	0	0	4,741,675	0	4,741,675	0
149	0	0	5,152,856	0	5,152,856	0
150	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
151	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
152	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
153	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
154	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
155	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
156	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
157	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
158	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
159	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
160	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
161	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
162	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
163	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
164	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
165	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
166	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
167	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
168	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
169	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
170	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
171	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
172	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
173	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
174	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
175	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
176	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
177	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
178	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
179	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
180	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
181	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
182	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
183	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
184	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
185	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
186	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
187	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
188	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
189	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
190	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
191	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
192	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
193	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
194	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
195	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
196	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
197	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
198	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
199	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
200	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
201	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
202	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
203	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
204	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
205	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
206	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
207	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
208	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
209	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
210	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
211	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
212	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
213	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
214	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
215	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
216	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
217	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
218	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
219	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
220	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
221	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
222	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
223	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
224	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
225	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
226	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
227	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
228	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
229	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
230	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
231	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
232	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
233	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
234	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
235	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
236	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
237	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
238	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
239	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
240	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
241	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
242	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
243	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
244	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
245	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
246	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
247	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
248	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
249	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
250	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
251	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
252	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
253	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
254	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
255	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
256	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
257	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
258	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
259	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
260	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
261	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
262	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
263	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
264	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
265	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
266	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
267	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
268	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
269	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
270	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
271	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
272	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
273	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
274	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
275	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
276	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
277	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
278	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0
279	0	0	2,815,055	0	2,815,055	0

(4) 基礎率

① 基礎率の元となる統計の概要と算定方法等

基礎率の種類	イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ [アは、内容(表別、集計項目、集計対象等)、使用年度、出所、抽出方法等、イは、内容、出所等]	オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 [概要(考え方と方法)、加工・補正・補完等の方法]	[概要(どのようなデータにどう使い何を算出するか)]	
総脱退率	ア. 元となる統計 動態統計調査(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の年度末組合員数及び年度間の性別・年齢別の総脱退者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に3年度平均した年度中総脱退者数を年度間平均組合員数で除したものを平滑化 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乘じて脱退者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度
公務上死亡	ア. 元となる統計 動態統計調査及び年金受給権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別の年度末組合員数及び年度間の性別公務上遺族共済年金の新規発生者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 公務上による死亡者の実績数が少く年齢別に作成することが不可能なため、年齢に関係なく一定率 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乘じて公務上傷病による死亡者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度
公務外死亡	ア. 元となる統計 動態統計調査(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の年度末組合員数及び年度間の性別・年齢別の公務外死亡者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 第20回生命表男子及び女子の死力	ウ. 設定方法 性別・年齢別組合員数を基に第20回生命表による死力で予定死亡者数を算出し、予定死亡者数と実績死亡者数との割合で同生命表の死力を修正した。 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乘じて公務外傷病による死亡者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度 第19回生命表
公務上障害共済年金者発生力	ア. 元となる統計 動態統計調査及び年金受給権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別の年度末組合員数及び年度間の性別公務上障害共済年金の新規発生者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 公務による障害共済年金発生者の実績数が少く年齢別に作成することが不可能なため、年齢に関係なく一定率 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乘じて公務上障害共済年金の新規発生者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度
公務外障害共済年金者発生力	ア. 元となる統計 動態統計調査及び年金受給権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の年度末組合員数及び年度間の性別・年齢別公務外障害共済年金の新規発生者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に3年度平均した年度間公務外障害共済年金新規発生者数を年度間平均組合員数で除したものを平滑化 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乘じて公務外障害共済年金の新規発生者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度

基礎率の種類	イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ [アは、内容(表別、集計項目、集計対象等)、使用年度、出所、抽出方法等、イは、内容、出所等]	オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 [概要(考え方と方法)、加工・補正・補完等の方法]	[概要(どのようなデータにどう使い何を算出するか)]	
障害一時金発生力	ア. 元となる統計 動態統計調査及び障害一時金発生統計(使用年度:平成17~19年度) 性別の年度末組合員数及び年度間の性別障害一時金の発生者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 実績発生件数がないことから、見込まないこととした。 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乗じて障害一時金の発生者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度
標準報酬指数	ア. 元となる統計 動態統計調査(使用年度:平成19年度) 組合員の性別・年齢別標準報酬月額 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に基準年齢(18歳)の標準報酬月額を1として指数化 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員の標準報酬月額に乗じて組合員の標準報酬月額の上昇傾向を算出	前回財政再計算使用年度:平成14年度
報酬年額に対する期末手当等の割合	ア. 元となる統計 標準報酬統計表(使用年度:平成19年度) 平成19年度の報酬月額総額及び平成19年度の期末手当等の額の割合 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に報酬月額の総額に対する標準期末手当等の額の割合を作成 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員の報酬年額に乗じて期末手当等の額を算出	標準報酬統計表(使用年度:平成15年) 平成15年6月及び9月(定時決定後)の報酬月額及び平成15年6月の期末手当等の額
退職共済(退職)年金失権率	ア. 元となる統計 年金受給権者及び失権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の退職共済(退職)年金受給権者数及び性別・年齢別の失権者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 第20回生命表 日本の将来推計人口(平成18年12月推計)	ウ. 設定方法 性別・年齢別に3年度平均した年度中失権者数を年度間平均受給権者数で除したものを平滑化 失権者の実績数が少ない階層については、第20回生命表の死亡率を使用 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 ウ. の失権率を、性別・年齢別に日本の将来推計人口の死亡率の改善割合により2055年度まで改善(2056年度以降は2055年度と同じ)	退職共済(退職)年金受給権者に乗じて失権者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度 第19回生命表 日本の将来推計人口(平成14年1月)
障害共済(障害)年金失権率	ア. 元となる統計 年金受給権者及び失権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の障害共済(障害)年金受給権者数及び性別・年齢別の失権者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 第20回生命表 日本の将来推計人口(平成18年12月推計)	ウ. 設定方法 男子は、性別・年齢別に3年度平均した年度中失権者数を年度間平均受給権者数で除したものを平滑化。失権者の実績数が少ない階層については、第20回生命表の死亡率を使用 女子は男子の年齢別失権率に(女子全体失権率/男子全体失権率)を乗じて算出 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 ウ. の失権率を、性別・年齢別に日本の将来推計人口の死亡率の改善割合により2055年度まで改善(2056年度以降は2055年度と同じ)	障害共済(障害)年金受給権者に乗じて失権者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度 第19回生命表 日本の将来推計人口(平成14年1月)

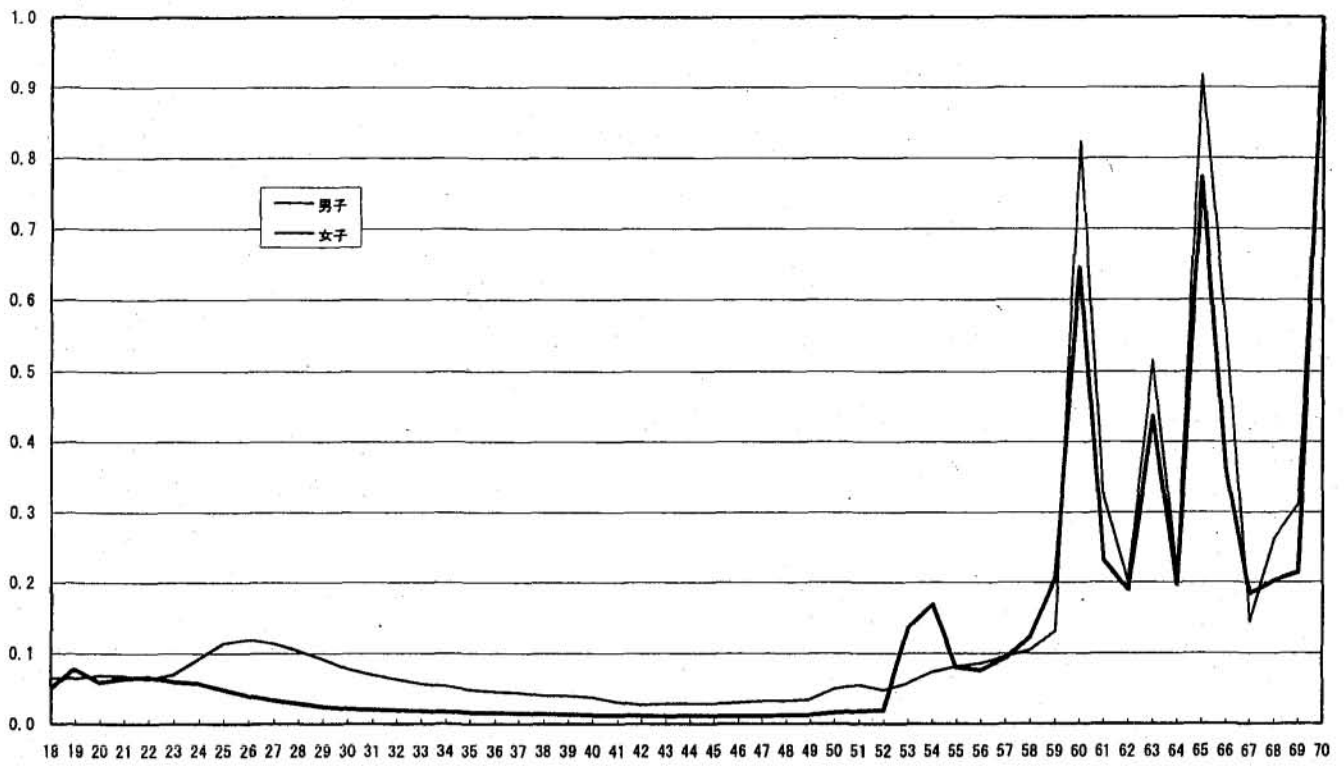
基礎率の種類	イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ [アは、内容(表別、集計項目、集計対象等)、使用年度、出所、抽出方法等、イは、内容、出所等]	オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 [概要(考え方と方法)、加工・補正・補完等の方法]	[概要(どのようなデータにどう使い何を算出するか)]	
遺族共済(遺族)年金失権率	ア. 元となる統計 年金受給権者及び失権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の遺族共済(遺族)年金受給権者数及び性別・年齢別の失権者数(性別は死亡した組合員の性別により区分) イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 第20回生命表 日本の将来推計人口(平成18年12月推計)	ウ. 設定方法 男子は、性別・年齢別に3年度平均した年度中失権者数を年度間平均受給権者数で除したものを平準化 女子は第20回生命表による死亡率で予定死亡者数を算出し、予定死亡者数と実績死亡者数との割合で同生命表死亡率を修正した率 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 ウ. の失権率を、性別・年齢別に日本の将来推計人口の死亡率の改善割合により2055年度まで改善(2056年度以降は2055年度と同じ)	遺族共済(遺族)年金受給権者数に失権者数を乗じて算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度 第19回生命表 日本の将来推計人口(平成14年1月)
有遺族率	ア. 元となる統計 動態統計調査及び年金受給権失権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別・年齢別の年度末組合員数及び性別・年齢別の遺族数 性別・年齢別の年度末年金受給権失権者数及び失権時の遺族数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 男子は、動態統計調査による性別・年齢別の有遺族率 女子は、動態統計調査による性別・年齢別の有子率 ただし、高齢層は、年金受給権失権者による性別・年齢別の有遺族率 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員及び退職共済(退職)年金受給権者並びに障害共済(障害)年金受給権者の死亡者数に遺族共済年金の受給権を有する者を算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度
障害共済年金の加給年金対象率(配偶者)	ア. 元となる統計 年金受給権者統計(使用年度:平成19年度) 性別の障害共済年金の加給該当者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 障害共済年金発生の実績数が少なく年齢別に作成することが不可能なため、年齢に関係なく一定率 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	障害共済(障害)年金受給権者数に加給年金対象者を乗じて算出	前回財政再計算使用年度:平成14年度
障害共済年金の等級別割合	ア. 元となる統計 年金受給権者統計(使用年度:平成17~19年度) 性別の障害共済年金の等級別の新規発生者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 障害共済年金発生の実績数が少なく年齢別に作成することが不可能なため、年齢に関係なく一定率 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	障害共済(障害)年金受給権者数に障害等級別受給権者数を乗じて算出	前回財政再計算使用年度:平成12~14年度
新規加入者発生割合 新規加入者の標準報酬月額	ア. 元となる統計 動態統計調査(使用年度:平成19年度) 性別・年齢別の新規加入組合員数及び平均標準報酬月額 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に直近年度の新規加入組合員数から発生割合を作成し、その加入組合員にかかる標準報酬月額の平均を作成 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	新規加入者数に年齢別の新規加入者数及びその標準報酬月額を算出	前回財政再計算使用年度:平成14年度

基礎率の種類	イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ [アは、内容(査別、集計項目、集計対象等)、使用年度、出所、抽出方法等、イは、内容、出所等]	オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 [概要(考え方と方法)、加工・補正・補完等の方法]	[概要(どのようなデータにどう使い何を算出するか)]	
年金停止率	ア. 元となる統計 年金受給権者統計 (使用年度:平成19年度) イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 年金停止額を年金総額で除して作成。一律2割カットは廃止に伴う影響を折込んだ。 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 支給開始年齢の引上げによる停止額の影響を折込んで設定	総給付費に停止率を乗じて算出	前回財政再計算使用年度:平成15年度
被扶養配偶率	ア. 元となる統計 動態統計調査 (使用年度:平成17～19年度) 性別・年齢別の被扶養配偶者数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に3年度平均した年度末被扶養配偶者数を年度末組合員数で除したものを平滑化 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員数に乗じて扶養している配偶者数を算出	前回財政再計算使用年度:平成12～14年度
被扶養配偶者の年齢	ア. 元となる統計 動態統計調査 (使用年度:平成17～19年度) 性別・年齢別の被扶養配偶者年齢 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に3年度平均した年度末被扶養配偶者年齢により作成 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員が扶養している配偶者の年齢を算出	前回財政再計算使用年度:平成12～14年度
加給年金対象率	ア. 元となる統計 年金受給権者統計 (使用年度:平成19年度) 性別・年齢別の配偶者及び子の数 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に直近年度の年度末加給年金対象者数を年度末年金受給権者数で除したものを平滑化 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	退職共済年金(20年以上)受給権者の配偶者、子供を有する割合を算出	前回財政再計算使用年度:平成14年度
遺族の年齢	ア. 元となる統計 動態統計調査及び年金受給権者統計(遺族共済年金新規発生) (使用年度:平成17～19年度) 性別・年齢別の扶養中・外配偶者の年齢及び最年少者の子の年齢 イ. 基礎率設定の際に使用した他のデータ 特になし	ウ. 設定方法 性別・年齢別に3年度平均した遺族共済年金新規発生者にかかる遺族年齢により作成 オ. 年度等により用いる率を変えている場合、その方法 特になし	組合員と遺族共済年金受給権者にこの基礎率を考慮し算出	前回財政再計算使用年度:平成12～14年度

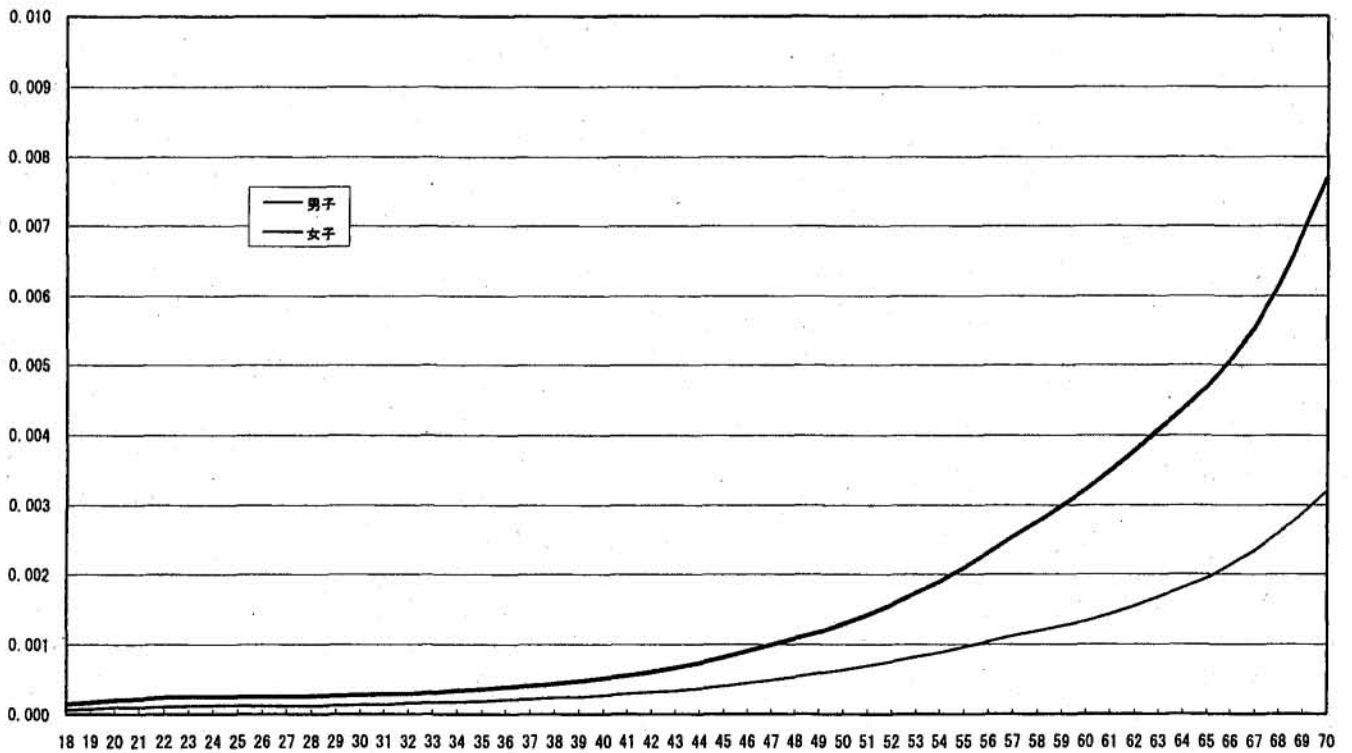
② 主な基礎率〈グラフ〉

【国共済】

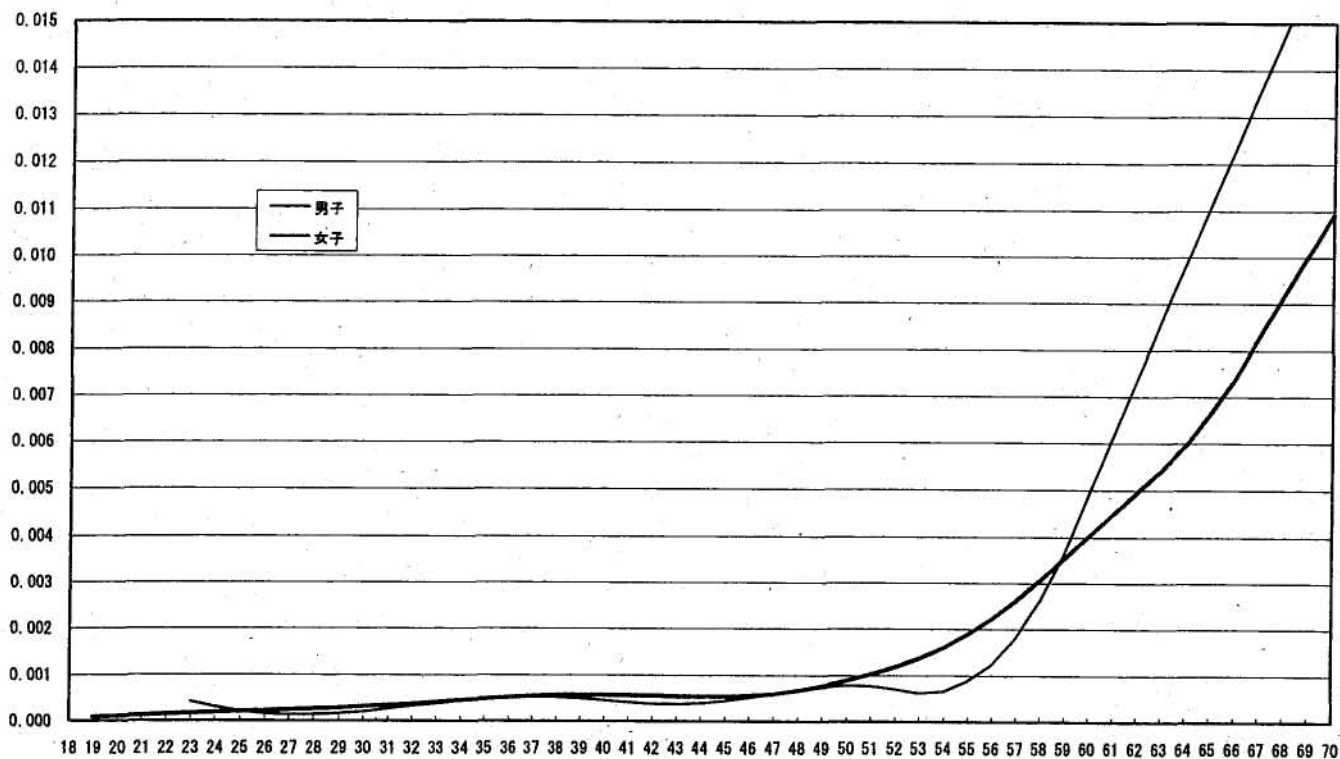
〈 総 脱 退 率 〉



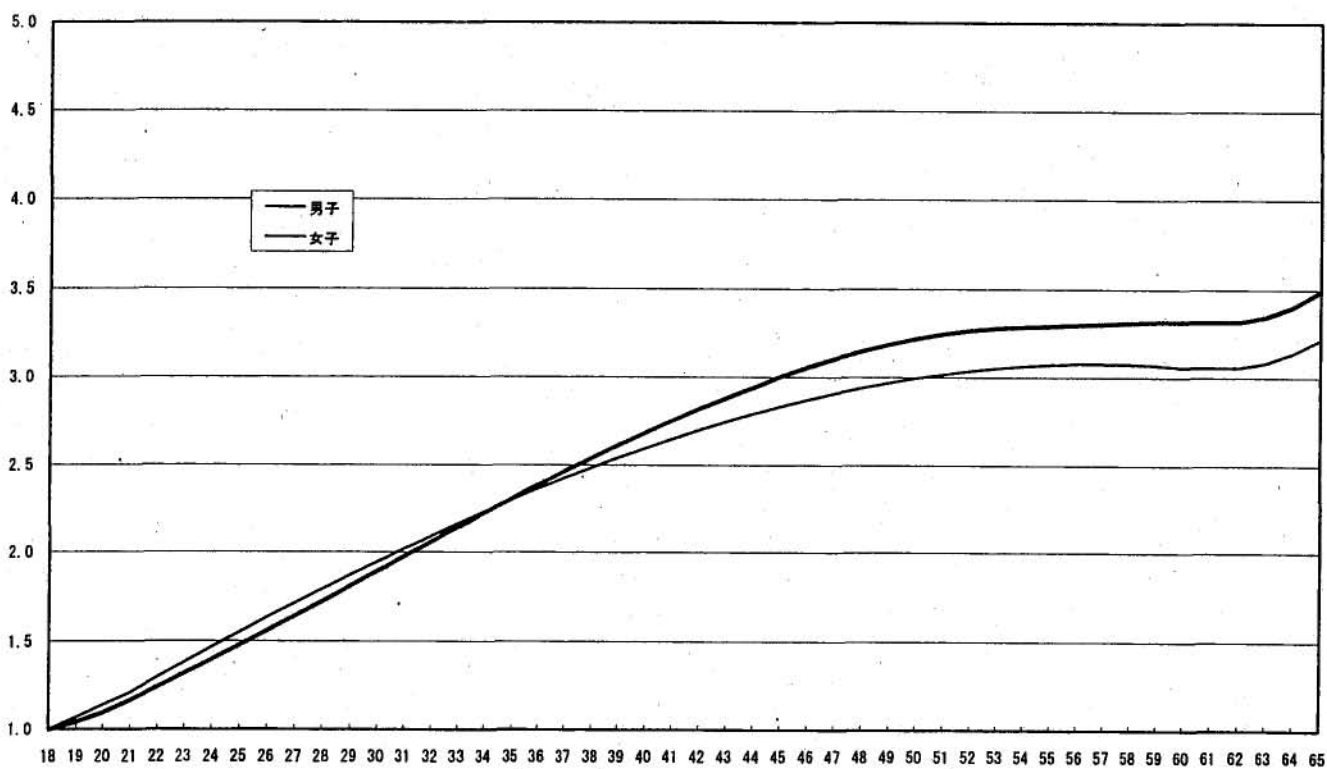
〈 公 務 外 死 力 〉



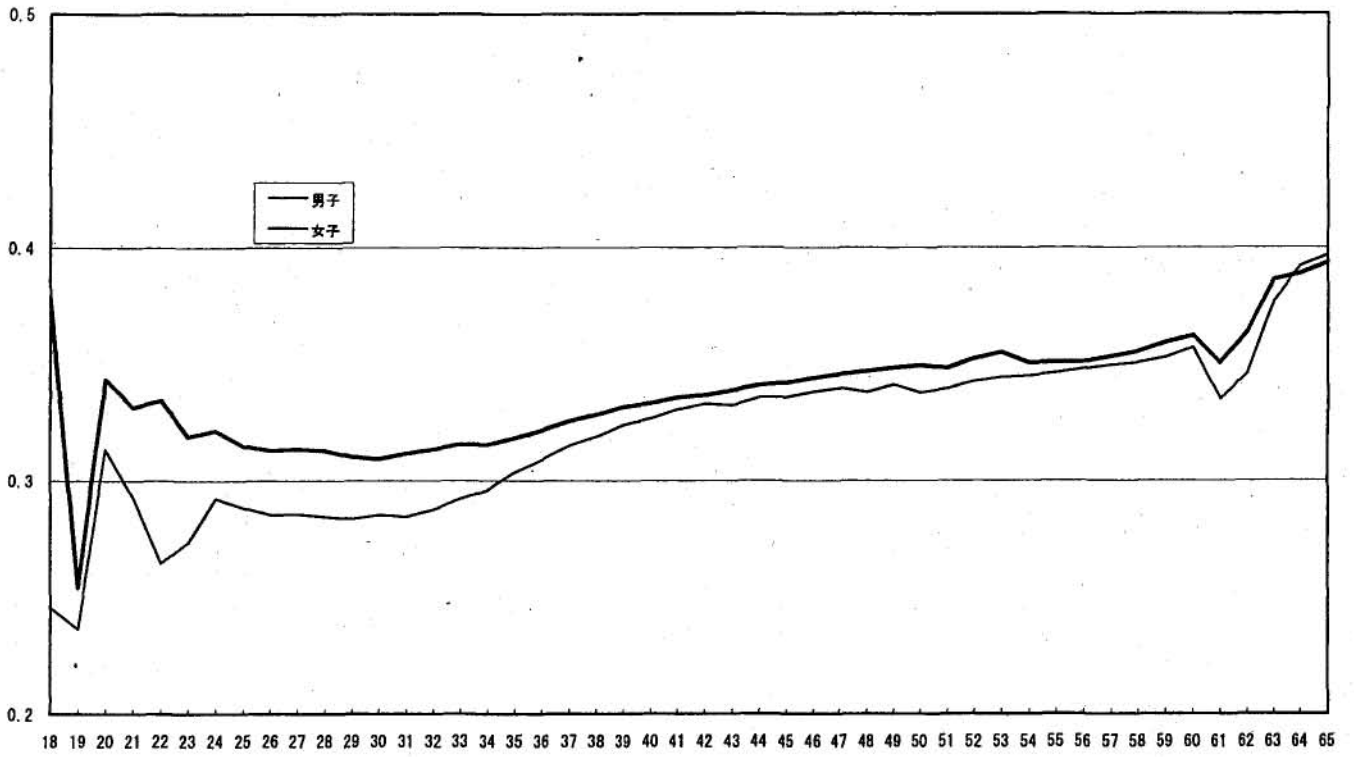
〈 公務外障害共済年金発生力 〉



〈 標準報酬指数 〉



〈 報酬年額に対する期末手当等の割合 〉



〈 退職共済年金者失権率 〉

